

第1回

- ・実施日：令和元年12月11日（水） 15:30～17:15
- ・場所：荒川上流河川事務所 流域管理棟会議室
- ・出席者：別紙のとおり

◆開催状況



◆協議会の内容

- 荒川水系越辺川・都幾川堤防調査委員会 報告
- 荒川河川整備計画有識者会議 報告
- 荒川水系人間川流域緊急治水対策プロジェクト 中間とりまとめ(素案) 説明
 - ・荒川水系における令和元年台風第19号の概要
 - ・ハード・流域対策について
 - ・ソフト対策について
- 現状で考え得る流域対策・ソフト対策の項目・課題について
- 意見交換・質疑応答
- その他

◆現状で考え得る流域対策・ソフト対策の項目・課題についての意見

- ・川越市では台風第19号において下小坂、寺尾など市境が多くの被害に遭ったことを重く受け止め、今後、広域避難について前向きに考えていきたい。また、浸水想定区域が大変広く、逃げ遅れる可能性のある地域に、避難場所として指定されていないが避難場所として利用可能な施設があるか確認する必要がある。更に、浸水想定区域内の避難場所の利用についても、今後検討する必要がある(川越市の意見)。
- ・洪水の早い段階で対象地域を絞った避難情報を発令することが課題である。また、市野川の想定最大規模の浸水想定区域図を考慮し、ハザードマップの表記も踏まえて更新していきたい。また、市内のはずれの避難所では収容人数が少なく、民間施設なども含めた避難所・避難場所の確保に向けて動いていきたい。また、市職員のマンパワーが不足しており、職員が常駐しない避難所の確保や体制づくりが必要である。(東松山市の意見)
- ・今年度及び来年度で防災行政無線のデジタル化を含む更新の際に河川監視システムを導入する予定であり、監視カメラや水位計の設置を計画している。また、現在の指定避難所ではまかないきれない避難者が発生し、指定避難所だけでなくその他市の公共施設を活用し、対応した。そのため、今後、それらの施設の指定避難所化等を検討していきたい。また、要配慮者利用施設の避難計画の作成および訓練の支援を関係部署を通し進めていきたい(坂戸市の意見)。
- ・川島町では2931人が避難し、収容人数を超えた避難所があった。来年度ハザードマップを改訂す

る予定であるが浸水想定区域図によると深い所で5～10mの浸水深があり、町内の避難所が使用できない。そのため、近隣自治体や大学や県の施設と協力し、広域避難を進めていきたいと考えている(川島町の意見)。

- ・ 入間川流域緊急治水対策プロジェクトは、国管理河川に関連する県管理河川の施策という認識で良いか。また、多重防御治水の考え方について教えていただきたい(埼玉県の見解)。
- ・ ハード及びソフト対策についての課題をこの五か年で改善を図っていくものと考えているが、ソフト対策については効果の評価が難しいと考えている(埼玉県の見解)。
- ・ 国管理河川に合流する県管理河川の合流点処理については、五か年で調節池とポンプを組み合わせることにより大きい洪水に対し安全性を確保していきたい。また、排水機場や水門についての耐水化や遠隔操作や避難基準を明確化し、操作の確実性・安全性を高めていきたい(埼玉県の見解)。
- ・ 住まい方の工夫については、場所によっては内水の湛水深及び被害が増加することもあるため、マッチングの議論を深める必要があると考える(埼玉県の見解)。
- ・ 水位計やカメラの設置は、現象と知るうえで重要であると考えているが、それらの情報を判断できる機能の強化が必要であると考えている。
- ・ 気象情報の中に河川の氾濫情報を盛り込むなど、気象台としてより一層警戒を呼び掛ける工夫をしていきたい。また、荒川上流河川事務所との光ファイバーの接続を利用し、台風説明会を埼玉県や自治体に共有できないかと考えている。また、警戒レベルと気象情報や避難に関する情報の関係についての普及啓発活動に取り組んでいきたい(熊谷地方気象台の見解)。

◆意見交換・質疑応答における意見

- ・ 光ファイバー接続により荒川上流のダム群や堰及び水門の操作状況を住民に公表することは技術的に可能か(埼玉県の見解)。
- ・ 坂戸市では来年度よりマイタイムラインに力を入れてやっていきたいと考えている。そのため、国土交通省にはマイタイムラインについての講座に協力いただきたい(坂戸市の見解)。
- ・ 浸水想定区域図の個別地点の浸水深をインターネットで確認することは可能か。または、データを提供していただくことは可能か(坂戸市の見解)。
- ・ 来年度以降、埼玉県の水害マップを考慮し、坂戸市のハザードマップの改定を考えているが、水害マップの公表時期を教えていただきたい(坂戸市の見解)。

◆協議会結果

- ・ 現状で考え得る流域対策・ソフト対策の項目・課題について川越市、東松山市、坂戸市、川島町、埼玉県、熊谷地方気象台より報告があった。

◆その他(事務局より)

- ・ 今後の予定として、12/24(火)AMに東松山市にて次回の入間川流域部会を実施予定であり、その際に中間とりまとめ(案)を提示する予定である。その後、中間とりまとめを公表、また、年明けに最終とりまとめの作業を実施していく予定である。

荒川水系(埼玉県)大規模氾濫に関する減災対策協議会
入間川流域部会 出席者名簿

日時・場所: 令和元年12月11日(水)15:30～ 荒川上流河川事務所 流水管理棟 大会議室

機関名	組織名	役 職	氏 名	備 考
川越市	防災危機管理室	副主幹	中里 薫	
東松山市	危機管理課	主事	松本 直樹	
坂戸市	防災安全課	課長	武田 晋也	
川島町	総務課	課長	鈴木 克久	
埼玉県	危機管理防災部 消防防災課	－	－	欠席
埼玉県	県土整備部 河川砂防課	課長	林 雄一郎	
気象庁 熊谷地方気象台	－	水害対策気象官	森野 克彦	
国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所	－	事務所長	藤本 雄介	
国土交通省 関東地方整備局 河川部	水災害対策センター	課長補佐	竹歳 健治	
国土交通省 関東地方整備局 河川部	河川計画課	課長補佐	阪本 敦士	

